

2019年度 交換留学 留学報告書

日本語日本文学科 3年

留学先：中国 華東師範大学

留学期間：2019年2月～2020年1月

留学をすると価値観が変わるとはよく言われ、私も留学前はそれを期待していた。たしかに、いろいろな価値観に触れて異なる背景の人種との出会いで自分の価値基準を考え直す、表現する機会がたくさんあった。そういった経験を経て、私自身の価値観に大きな変化はなかったと思う。しかし価値観の変化以上に自分の価値観の根拠が明確になった。自分の価値観がどのように形成されたものか、何が根幹にあるのか、自分の経験、文化的な背景、環境要因それらを見直すことで自分を客観的に理解することができた。自分の武器に初めて気づくこともできたし、反対に直すべきところにも気づけた。これは就職活動に必要な自己分析に当たると思う。

留学中に、元号が変わり中国のニュースでも取り上げられていたため、友達たちからそういった質問をされることが多かった。「天皇制」についてなぜ天皇に敬意を払うのか、宗教とは異なることなど今まで当たり前に入れてきた文化なので説明するのに苦労した。こういった経験から国際的に生きるためには自国の正しい知識、自分の意見・意思の確立が不可欠だと学んだ。語学力以上に考えを言語化して伝える能力が何よりも大切だと考える。

日本では宗教の話や政治の話はタブー視されているが、知識が欠けていると、悪気なく相手を傷つけてしまうかもしれない。関係を築く上で相手の信仰するものへの理解は欠かせない。それらの知識を身につけることは国際的に生きる上でのマナーである。しかしこれは日本人同士の会話でも同じことだ。留学前はそういった気遣いが足りていなかったと思う。そういった面で視野が広がり、成長できたと思う。

また環境問題・医療問題、世界で起きている戦争について、様々な問題を議論する機会を重ねるごとに、自然と物事を世界基準で考えられるようになった。また今まで知らなかったことさえ気づいていなかったことを知ることも多かった。広い視野で物事をみることができるようになり、選択肢も広がった。留学を通じて国際社会で生きるために必要なマナーを身につけることができた。

今日本にいてもさまざまな手段で外国とつながり、外国語を学んだり、友達を作ることができる。しかし現地で一緒に中国語を学び苦楽を共にした友達は、留学中だけのつながりに留まらず、帰国後、卒業後の人生においても貴重な財産になった。

現地で実際にパスポートの盗難にあたり、大小さまざまな問題に直面し、失敗することも多々あったが、問題解決する経験を経て、精神的に成長できて自分に対する自信をつけることができた。この留学で学び、得たことは、私のこれからの人生を豊かにするかけがえのない財産になった。

2019 年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3 年

留学先：中国 華東師範大学

留学期間：2019 年 2 月～2020 年 1 月

学習の成果という点だけでいえば、まず資格の面では、HSK5 級を取得しました。そして留学に来る前は全くしゃべることのできなかった、どのように話せばよいのかさえも分からなかった中国語が、少し話せるようになったこと。どのように語句を組み立てればよいのかわからなく文章に苦手意識を持っていた作文が、その苦手意識が薄れたこと。速すぎて全くと言ってよいほど聞き取ることが出来なかった中国語が、聞き取れるようになったこと。初めのころは元々の私の性格の面と中国語ができなくコミュニケーションが思ったように取れないというところから、比較的内向的でありましたが、何とかして自分の気持ちを伝えようとしたり日本について発言し関わろうとするうちに、自分から何かしようという積極性が出てきたのではないかと思います。

しかし、私が今回の約 11 ヶ月間の留学生活を通して一番学んだと思う、一番得たと思うことは、勉強というだけでなく、人との出会いだったのではないかと思います。必ずしも良い思い出ばかりではなく、苦しい思い出が多かったと思うけれど、それでも今思えばこんなことがあったと思い出話のように感じます。今回の留学を通して、日本だけでなく様々な国の方と関わり、たくさんの考え方があって感銘を受けることもあれば衝撃を受けることもあって、自分の中で葛藤を多くしました。たくさん傷つきましたし、たくさん悲しい思いをして体調も悪くなった時もありましたし、泣きそうになる時もありました。複雑な思いを多く抱えました。自分自身についてはじめてこんなに見つめ直して向き合った機会であったと思いますし、自分自身だけでなく相手についてより理解が深まった時だったと思います。

今の日本とその他の国との情勢について必ずしも良い関係性とは言えないと思います。しかしながら、その国の人だからと一括りにするのではなく、一個人として向き合い理解することの重要性を強く感じました。